

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

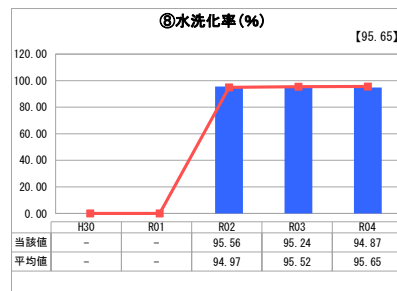
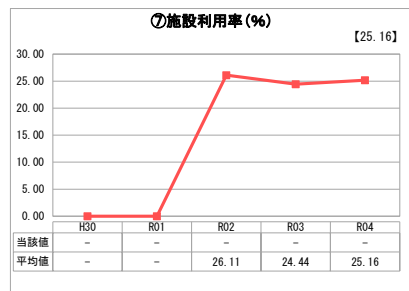
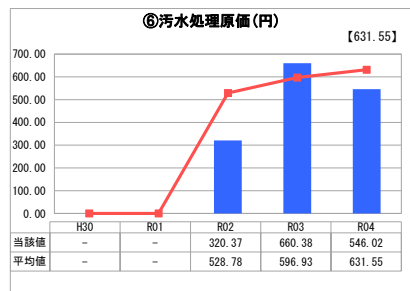
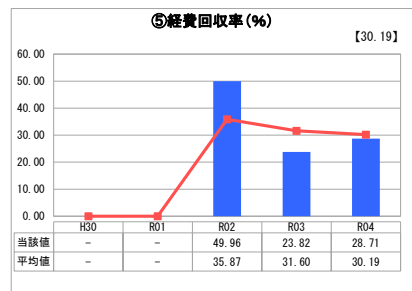
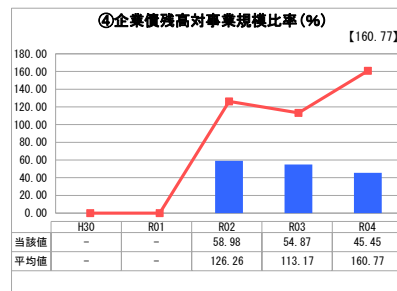
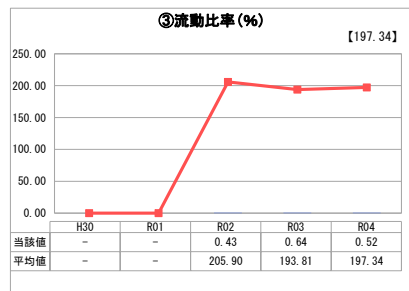
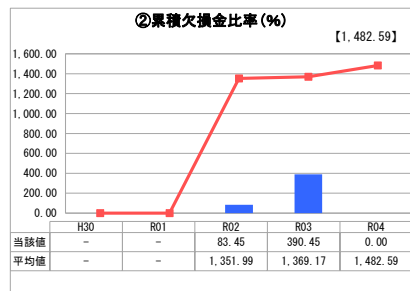
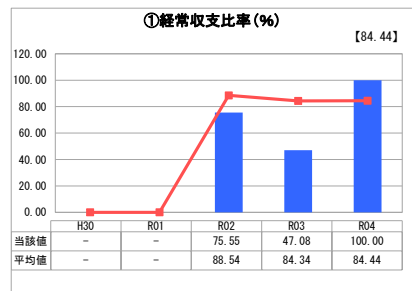
熊本県 あさぎり町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	簡易排水	J2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	78.48	0.27	100.00	3,300

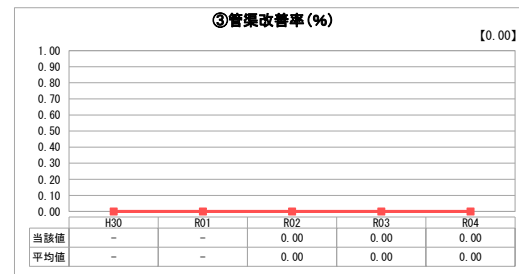
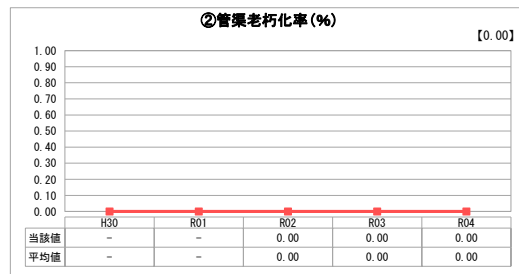
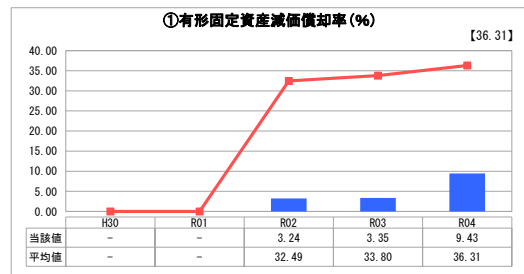
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,554	159.56	91.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
39	0.01	3,900.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、一般会計繰入金からの収入によって、賸っているため100%となっております。  
 ⑥ 汚水処理原価について昨年度同様に高い比率になっているのは、老朽化による修繕を行ったためです。  
 簡易排水事業においては、使用料収入のほか、一般会計からの繰入金に依存している状況です。当該区域は、今後も区域内人口の増加が見込めないため使用料収入は減少するものと推測され、経営の健全性・効率性について検討が必要となります。

### 2. 老朽化の状況について

当事業の施設は、平成11年度から使用開始しており、25年が経過しています。  
 管渠においては、法定耐用年数に到達するまで期間があるため、更新の予定はありませんが、浄化槽や電気設備等の付属施設は耐用年数が迫っており、今後、大規模な修繕が発生することが予想されます。

### 全体総括

経営の健全性・効率性にも記載しているとおり、当該区域内人口の増加は見込めず、また、施設の老朽化による修繕若しくは更新に係る費用は増加するものと推測されます。  
 適正な使用料収入の確保のため使用料の改定などを検討も含め、近い将来、維持管理に関して検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。